（様式第５号）

意見募集の結果公表

釧路市立博物館条例及び釧路市立博物館条例施行規則の一部改正（案）に対して、市民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と市の考え方は下記のとおりです。ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

寄せられたご意見等について検討した結果、釧路市立博物館条例及び釧路市立博物館条例施行規則の一部改正（案）の修正は行わず原案どおりとして策定することとしました。

【意見募集結果】

<table>
<tr><td>案　　件　　名</td><td colspan="3">釧路市立博物館条例及び釧路市立博物館条例施行規則の一部改正についてのご意見を募集します</td></tr>
<tr><td>募　集　期　間</td><td colspan="3">令和８年１０月１４日（水）～　令和８年１１月１３日（金）</td></tr>
<tr><td>意 見 の 件 数
（意見提出者数）</td><td colspan="3">１０　件（３　人）</td></tr>
<tr><td>意 見 の 取 り 扱 い</td><td>修正</td><td>案を修正するもの</td><td>件</td></tr>
<tr><td></td><td>既記載</td><td>既に案に盛り込んでいるもの</td><td>件</td></tr>
<tr><td></td><td>参考</td><td>今後の参考とするもの</td><td>２件</td></tr>
<tr><td></td><td>その他</td><td>意見として伺ったもの</td><td>８件</td></tr>
<tr><td rowspan="4">意 見 の 受 け 取 り</td><td colspan="2">電子メール</td><td>３人</td></tr>
<tr><td colspan="2">郵送</td><td>人</td></tr>
<tr><td colspan="2">ファクシミリ</td><td>人</td></tr>
<tr><td colspan="2">直接持参</td><td>人</td></tr>
</table>

【問合先】

釧路市教育委員会生涯学習部博物館博物館係
〒０８５－０８２２　釧路市春湖台１番７号
電話（０１５４－４１－５８０９）　ＦＡＸ（０１５４－４２－６０００）
Ｅメール　museum@city.kushiro.lg.jp

（様式第５号の１）

意見募集の結果公表

市民等の意見の概要	件数	意見に対する釧路市の考え方
・繰り返し来館する市民の負担を抑え、来館者の確保にもつながる制度として、年間パスポートの新設を要望します。 ・人口減少による公共施設の維持管理にかかるコスト問題は全国的にも懸案になっており、利用者負担増加は、避けて通れないと考えます。例えば「年間パスポート」導入も検討してはどうか。年４回以上の来館となった場合、一般利用者６００円×４回で２，４００円になるところを「パスポート２，０００円」設定であればリーズナブルになり、利用者拡大にもつながる。	2	【参考】 年間パスポートの導入について、道内他都市の博物館における導入状況等を踏まえながら、研究を進めてまいります。
・入館料 600 円は割高な印象があり、市民が気軽に利用しにくくなるおそれがあります。社会教育施設としての役割を踏まえ、再考をお願いします。	1	【その他】 ご意見として伺います。
・入館料の見直しについて下記の提案をします。 市立博物館は観光資源として魅力のある施設であり、館内の音楽は日本の環境音楽のパイオニア吉村弘氏によるものです。建物は当時世界的に有名な建築家　毛綱毅曠氏の作品であり、館内展示品とくにアイヌ民族に関する展示数は国内有数の規模を誇ります 　また、展示品の法被は、駐函館米国総領事の Edward Julian King 氏が設立したキング＆シュルツ商会釧路支店のものであり、同時にこれは坂本龍馬の亡き後、坂本家が釧路に移住して設立した坂本商会の源流にあたります、坂本家と米国との繋がりを示す貴重な資料になります。 　このように素晴らしい展示品の中身と展示品	1	【その他】 ご意見として伺います。

に関する説明の少なさ、さらに国内一級の環境音楽を壊れたままに放置するという現況では、極めて残念です。 そこで以下のように提案します、 大学生　釧路市内の大学生　１名６００円 大人　市外の大学生　１名１５００円 学芸員によるアテンド案内サービスの別料金による付加サービス（一回９０分程度で９０００円（日本語、英語、中国語、韓国語、ロシア語） しっかりお金をとって、この素晴らしい施設を活かして欲しい。		
・小学生から中学生までを無料とする点は評価します。あわせて、高校生・専門学生・大学生など全ての学生は無料の対象としてください。	1	【その他】 ご意見として伺います。
・英国の博物館には、入館料を無料とし、カフェ、企画展、物販、寄付などで収益を得ている例があります。入館料の引き上げだけに頼らず、こうした方法も参考に検討をお願いします。 ・最上階の春採湖を一望できる空間に地元大学生を利用した小さなカフェを設けてはどうだろう。	2	【その他】 ご意見として伺います。
・他都市では「カフェ」を併設してゆったり時間を過ごしていただける施設も多いと聞く。風光明媚な高台に位置しているので、環境を生かした施設の魅力アップにも投資してほしい。 一方で、過去のビジョン策定が不十分で不必要な公共施設は積極的に廃止、閉鎖を積極的に進めるべきではないか。意義目的と組織存在の理念という原点での評価を求めたい。	1	【その他】 ご意見として伺います。
・今回の条例改正によって、人口減少でそれ［公共施設の見直し］を行う好機と考える一方で、未来の釧路をどうしたいのか、観光発展のためには、釧路の歴史と文化をていねいに継承し未	1	【その他】 ご意見として伺います。 なお、本条例等の一部改正（案）は、釧路市立博物館友の会会員の

来へ語り継ぐ責任がある。 　また、何より欠かせないのが「博物館の運営には友の会をはじめ、市民有志がバックアップしているという組織がある」という事実である。 　今回の条例改正で市民有志の声を聴くのであれば、そのような支援組織の声も対話でしっかり受け止めるべきではないか。		ご意見も踏まえております。
・懸念されるのは、入館料値上げだけではなく、運営管理自体のコスト削減は大問題で本来、学芸員のみなさんの調査研究に多くの時間を確保するのが最優先事項です。間違っても、その学芸員たちを館の運営管理や受付業務に多くの時間を確保しないといけない状況にすることだけは絶対に避けていただきたい。 　調査研究の時間を削減するような事態になった場合、時間の経過とともに歴史は風化され記録保存を誰も行わず、未来の釧路の魅力発掘に大きなマイナスとなることを忘れてはいけない。 　私は「入館料アップには賛成」だが、事務職スタッフの削減反対、再投資による館の魅力向上を強く求めるひとりです。	1	【その他】 　ご意見として伺います。